

沿道に咲く満開のバラ

豊科近代美術館

街にバラの彩り

安曇野市内の各地でバラの花が見頃を迎えている。市豊科近代美術館のバラ園では、500種類・1000株のバラが次々と開花し、来場客で賑わっている。

美術館の正面入り口には、黄色とオレンジ色の「スベクトラ」が咲き誇っている。ほかにも深紅の「重咲きのコクロール」や、小ぶりで淡いピンクが美しい「ツル核露」、純白の花弁が波やかな「アイスパーク」などが満開だ。訪れた方にはバラ園の小道をゆっくり歩きながら、写真撮影したり、花に顔を近づけて香りを楽しんだりして楽しむことができます。

恒例のバラ祭りは新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年30日にはバラ苗と山野草の販売会や園遊会を中止したが、今年30日にはバラ苗と山野草の販売会や園遊会を開催。バラは60種類ほど咲き誇ります。

安曇野市豊科のカーエアコン部品などを開発・製造のデンソーエアシステマスのバラは、豊科駅前田沢停車場線に面したフェンス沿いに、150株にわたって色とりどりの花が咲き、甘い香りとともに通行人らを魅了させている。

淡いピンクやオレンジ、重咲きの赤い花などさまざまなバラが咲き誇る。市民らから親しまれている。花の名所の一つだ。同社O.D.で、この春からバラの手入れを担当することになった丸山一光さん(72)は「きれいに咲かせないといけないから責任重大。今年はなんとか及第点かな」と笑顔を見せた。

見頃を迎えたデンソーエアシステマスのバラ

(坂口 撮影)



市民タイムスでも紹介されました (5/28発行)

